



森づくりセミナー



身近な森のいきものの最前線 ～ ヒグマと希少な動植物 ～



日時

令和7年6月14日(土)
13:00～15:00

場所

札幌市北区北19条西11丁目
北海道総合研究プラザ 1階
セミナー室

主催

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
森林研究本部 林業試験場

申込方法

- 別紙申込用紙に必要事項を記入の上 郵便・FAX・メールでお申込みください。
- 申込締切：令和7年6月10日(火)

本セミナーでは、身近な森林に息づく野生生物について紹介します。林業試験場からは、防風林に生息する絶滅危惧種と、管理が担う生物多様性保全について、林業試験場以外からは、近年のヒグマをめぐる諸問題についてお話しします。生物多様性保全は、世界的・国家的な目標として位置づけられています。一方ヒグマは、人的被害など社会問題となっています。ヒグマやエゾシカが生息する身近な森林について、エゾシカ捕獲に携わる現役ハンターの方から講演をいただき、現状と課題を共有します。

講演内容

「防風林の手入れが担う生物多様性保全と今後の課題」

道総研 林業試験場 主査 速水 将人

「ヒグマの行動と被害発生背景」

道総研 エネルギー・環境・地質研究所シニアアドバイザー兼主査 釣賀 一二三

「ハンターから見た山の命のつながり」

むかわのジビエ 代表 本川 哲代

(問い合わせ先)

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構 森林研究本部 企画調整部 普及グループ (担当：上出)

(林業試験場)

TEL：0126-63-4164 FAX：0126-63-4166 E-mail：forestry@hro.or.jp

講師紹介



速水 将人（はやみず まさと）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
森林研究本部林業試験場森林環境部所属
北海道出身。専門分野は植物生態学。絶滅が危惧される動植物の生態を踏まえた防風林管理手法が研究テーマ。幼少期から植物標本や昆虫標本作成がライフワークで、標本を活かした森林の生物多様性普及・体験プログラムを開発中。
博士（環境科学）（北海道大学）



釣賀 一二三（つるが ひふみ）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所所属
江差町の道南地区野生生物室で、20年間に亘って地域のヒグマ研究や被害対策に取り組んできた。令和2年より札幌勤務となり、北海道における人とヒグマのあつれき軽減を目指して活動している。
博士（獣医学）、獣医師



本川 哲代（もとかわ あきよ）

むかわのジビエ 代表
むかわ町の委嘱ハンターとして有害捕獲に携わりながら、地元猟友会ハンターが捕獲したエゾシカの食肉加工を実施。捕獲したエゾシカは食肉用やペットフードとして販売しているほか、ジビエ加工食品の開発・販売にも取り組んでいる。
農林水産省令和6年度鳥獣対策優良活動表彰
「農村振興局長賞」受賞